

令和元年度第10回大学運営連絡会議事要旨

日時	令和2年2月18日(火) 10時29分～11時51分
場所	大学本部2階大会議室
出席者	渡理事, 山下理事, 寺本理事, 早瀬副学長・全学教育機構長, 板橋教育学部長, 小坂芸術地域デザイン学部長, 中村経済学部長, 末岡医学部長, 豊田理工学部長, 小林農学部長, 山下附属病院長, 高椋総合分析実験センター長, 山崎附属図書館長, 山崎副学長・事務局長
欠席者	学長, 佐々木監事
陪席者	鯉川学長補佐, 倉岡学長補佐, 小野学長補佐, 穴井学長補佐, 後藤学長補佐, 三島学長補佐, 岩本学長補佐, 山口学長補佐, 西郡学長補佐, 吉永学長補佐, 宮武地域学歴历史文化研究センター長, 永田海洋エネルギー研究センター長, 郭シンクロトロン光応用研究センター長

○ 議長代行：渡理事

○ 学長から、令和元年度第9回大学運営連絡会議事要旨の確認依頼があった。

【 報告・連絡事項 】

(1) 「国立大学改革方針」を踏まえた国立大学との徹底した対話について
渡理事から、2月3日(月)に本学と文部科学省との徹底対話が行われた旨、対話当日の本学に対する質問事項等の説明があった。

(2) 4月以降の月例報告の進め方について

渡理事から、各部局の活動状況等の現状について、大学運営連絡会において「月例報告」として情報共有を行い、改善・向上に取り組んでいくこととしているが、報告事項の増加等に伴い時間の確保が難しい等の理由から、進め方の見直しを行った旨、4月以降の実施方法について、大学運営連絡会における部局長報告(指摘事項対応)(案)の説明があった。

附属病院長から、今後は指摘事項への対応報告のみで、他部局の特色ある活動等の情報共有は行われないのか確認があり、渡理事から、特色・強み等については、よりコンパクトに報告していただくこととなる旨の説明があった。

(3) 2020年度（令和2年度）国立大学法人佐賀大学運営費交付金予定額（政府案）等の概要について

財務部長から、本学の運営費交付金予定額及び対前年度比減の主な要因、令和2年度「成果を中心とする実績状況に基づく配分」における本学の配分額等の説明があった。

吉永学長補佐から、「成果を中心とする実績状況に基づく配分」における本学の配分率が低い指標の原因分析について確認があり、財務部長から、分析は行っており、指標によっては改善の見込みがある旨の説明があった。

(4) ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（先端型）キックオフ・シンポジウム「ダイバーシティと働き方改革」について

渡理事から、文部科学省科学技術人材育成費補助事業ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（先端型）に採択されたため、3月10日（火）にキックオフ・シンポジウムを開催予定である旨の説明があった。

(5) その他

特になし。

【 各学部等からの報告・連絡事項 】

(1) 活動現況等について月例報告

西郡IR室長から、月例データの分析に基づく気づき事項について説明があり、次いで、各部局長から、前回の気づき事項への対応を含む月例報告があった。

(2) その他

特になし。

【 その他 】

寺本理事から、第16回キャンパスベンチャーグランプリ全国大会において、佐賀大学発ベンチャー第1号である株式会社山城機巧が経済産業大臣賞を受賞した旨の報告があった。

以 上